

公益財団法人畑崎財団

令和6年度 事業報告書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

■公益目的事業について

事業番号	事業の内容	事業比率
公1	地域社会の健全な発展に資する活動に対する助成事業	58.1%

事業費 2,200,000 円

【趣旨・目的】

公益財団法人畑崎財団では、兵庫県在住ならびに兵庫県出身、兵庫県で活動する団体または個人が、医学、化学、生物学、歴史学などの学術的な活動、芸術文化活動、スポーツ活動、地域貢献活動の分野で活躍され、現在の様々な課題に向き合い、新たな未来を切り開くことができるよう、また、今後もその活動が地域の未来を明るく照らし、成長や発展を遂げられるよう奨励するため、その活動を助成し、明るく健康的な社会づくりに寄与する。

【事業の内容】

「畑崎未来奨励」助成事業を発足し、以下の要領に従って、対象となる活動を行う団体または個人に対し、その活動経費の一部を助成する。

■助成の対象

兵庫県在住ならびに兵庫県出身、兵庫県で活動する団体または個人。

- (1) 未来を目指す医学・科学などの学術的な活動
- (2) 未来を目指す芸術文化活動
- (3) 未来を目指すスポーツ活動
- (4) 未来を目指す地域貢献活動

■対象活動

- (1) 医学・科学などの学術的活動
例えば、新たな学術研究成果の発表
- (2) 芸術文化活動
・将来全国や世界での活躍を目指す芸術文化活動
例えば、青少年で構成する楽団の演奏会の開催
- (3) スポーツ活動
・将来全国や世界での活躍を目指すスポーツ活動
例えば、将来を嘱望されるテニスプレイヤーの遠征試合
- (4) 地域貢献活動
・地域の活性化を目指す地域貢献活動
例えば、青少年による地域での防災訓練

■申請件数・助成件数・金額

- ・各個人・団体の申請件数は各年度1件とする。
- ・年度内の助成件数は、4件以内とする。
- ・金額は、1件あたり原則50万円以内、総額で200万円以内とする。

但し、特に理事長が認めた場合は、個々の助成額、助成総額を増額することができる。

■ 助成対象経費

- ・ 研究発表費（論文冊子の印刷費等）
- ・ コンサート・イベント開催関係費用（会場使用料、広報費、楽器運搬費等）
- ・ 活動に必要な国内、海外出張や遠征時の旅費、宿泊費等
- ・ 楽器や用具の購入やメンテナンスの費用
- ・ 調査研究に必要な費用
- ・ 活動備品の購入費用
- ・ 啓発活動の研修経費
- ・ その他、助成対象となる活動に必要と理事長が求める経費

■ 助成対象となる対象活動の期間

原則として、毎年 4 月 1 日～翌年 3 月 31 日の 1 年間における単年度の助成とする。

ただし、活動が複数年にわたる場合は、助成審査委員会の審査を経て理事長が認めれば、3 年間連続を上限として複数年の助成も行うことができるものとする。

■ 応募の案内

当財団法人のホームページにて告知する。

■ 応募方法

公募形式とし、以下の必要書類を当財団法人のホームページを通じて提出する方法による。

- ・ 助成申込書（所定の様式）
- ・ 活動に必要な費用の根拠となる資料（見積書、料金表、領収証等）

■ 審査方法

有識者によって構成された「畑崎未来奨励」助成審査委員会で審議の上、選考する。

■ 活動報告

助成対象活動の完了後、財団が指定する方法で活動報告を求める。

■ スケジュール

（令和 6 年）

募集期間 令和 6 年 7 月 1 日～8 月 31 日

審査 令和 6 年 9 月

結果通知 令和 6 年 9 月

助成金交付 令和 6 年 10 月

■ 助成先・事業内容

以下、2 件に対し各 50 万円を助成。

（1）南淡中学校 郷土芸能部

昭和 58 年開校と同時に創設された『郷土芸能部』は、空き教室とたった 1 本の拍子木からスタート。淡路人形浄瑠璃の継承と発展のために努力し、積極的に公演を行い、練習の成果を発揮してきた。年間約 20 回の公演を通して、地域との繋がりを深めている。普段認められる機会の少ない生徒ほど生き生きと変容し、表現力が育ち、コミュニケーションに積極性が見られるようになっていく。また、部の卒業生が淡路人形座でプロの技芸員として活躍をしている。

【活動の成果】

- ① 三業（人形・太夫・三味線）を生徒だけで上演できるようになった。
- ② 人形浄瑠璃を通して、学校と地域の交流が進んだ。
- ③ 故郷を愛し、誇りに思う生徒の育成、淡路人形浄瑠璃後継者育成。

【課題】

人形浄瑠璃は技芸の習得が難しいだけでなく、人形や道具類も特殊でなかなか手に入らない。今あるものを有効活用し、できるだけ金銭的負担のないようにと考えている。人形の手足や胴については、これまでのものを有効活用し、新しい演目に必要な本番用衣装を購入と傷みの激しい人形を修繕し公演活動を活性化したい。

【助成金の使途】

伊達娘恋緋鹿子 八百屋お七火の見櫓の段で使用する人形の衣装一式。

戎 衣装・かしら等一部修繕。

（２） 阪神・淡路大震災 長田復興コンサート実行委員会

- ① 阪神・淡路大震災から 30 年を迎え、被災地でも震災を経験していない人が半数以上となるなか、本イベントを通して、震災の教訓をこれからも忘れることなく語り伝え、安全・安心なまちづくりに活かしていく。
- ② 復興の歩みの中で、震災直後から、歌と演奏で被災地を励まし続けていただいた「五木ひろし」さん、「佐渡裕」さん、とともに、コンサートを通して次世代を担う子どもたちの夢を育んでいく契機とする。

【震災の教訓を明日へつなごう!! 長田 2025】の事業内容

(1) 震災の教訓を明日へつなごう!! みんなの心のコンサートの開催

- ① 日時 令和 7 年 1 月 17 日(金) 12:15～15:00
- ② 会場 神戸市立駒ヶ林中学校 体育館
- ③ 参加者 700 名
- ④ 出演者 五木ひろしさん、佐渡裕さん、長田区公立 6 中学校吹奏楽部、長田高校吹奏楽部・音楽部ほか

⑤ 主な内容

- ・震災を語る(五木ひろしさん、佐渡裕さん)
- ・佐渡 裕指揮 中高生吹奏楽部合同演奏「アフリカンシンフォニー」
- ・五木ひろしミニコンサート
- ・被災地からの現状報告(岩手県大槌町 予定)
- ・みんなで歌おう(佐渡 裕指揮、長田高校音楽部、会場参加者)
- ・阪神・淡路大震災 30 年の誓い 中・高生代表
- ・五木ひろしさん、佐渡裕さん、への感謝の言葉 など

(2) 震災を伝える巡回パネル展の実施

長田区内の中学校、神戸県民センター等で実施

(3) シンポジウム「震災の教訓を明日へつなぐ」の開催

- ① 日時 令和 6 年 12 月 17 日(火) 18:00～20:00
- ② 会場 ピフレホール(長田区文化センター別館)
- ③ 内容 ・講演「歴史に学ぶ減災の知恵～地域の震災の記録から～」

講師 県立兵庫津ミュージアム名誉館長 田辺 真人氏

・てい談と合唱「しあわせ運べるように」 臼井 真氏ほか

参加者 200 名

以上